

【ディプロマポリシー】（卒業認定・学位授与に関する方針）
 化学生命工学科では、持続可能な社会の構築と健全で快適な生活の維持と促進に貢献できる、化学、生命工学、環境化学、食品科学の技術者・研究者を育成するために、化学を基礎とした化学現象や生命科学を基礎とした生命現象と物質との関わりについて教育と研究を推進することを目指します。厳格な成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与します。卒業までに身につけておくべき資質を、以下に示します。
 化学生命工学科の卒業生は、

- 1 地球と人を思いやる豊かな感性と高い倫理観を持ち、国際的に通じる、筋道をたてて表現できる能力を身につけていること。
- 2 問題を提起し、それを解決するために行動できる能力を身につけていること。
- 3 生命科学や化学の基礎知識を持ち、専門知識を活用できる能力を身につけていること。
- 4 工学領域のみならず生物学、医学、農学分野に跨った問題に対処できる技術者・研究者に必要とされる生命現象への理解を身につけていること。
- 5 生物化学コースの卒業生は、生命科学、化学およびその複合領域の専門科目を縦断的に学び、その知識を複合的に応用し問題を解決する能力を身につけていること。
- 6 環境化学コースの卒業生は、自由度の高い科目選択の特長を活かし、生命工学、化学、食品科学、環境化学等の専門分野を修得し、専門的な分野の基礎的知識と応用力を身につけていること。
- 7 食品科学コースの卒業生は、食品成分の構造や性質について学び、食品の製造、衛生、機能に関する知識と応用力を身につけていること。

【ナンバリング付番ルール】
 ≪総合科目・外国語科目≫
 <百の位> 1
 <十の位> 開講年次を記入 開講年次 1～4 の場合、1番低いものに合致す。 ※1～4:1, 2～4:2
 <一の位> 人間性・社会性科目群: 1 地域性・国際性科目群: 2 課題設定・問題解決科目群: 3 表現・スポーツ・健康活動科目群: 4 専門基礎・自然科学科目群 5 「～Ⅰ」:6 「～Ⅱ」:7 外国語共通(海外語学研修):8
 ≪専門科目≫
 <百の位> 1年生専門:2 2年生専門 :3 3年生専門 :4 卒研・卒研ゼミ:5
 <十の位> 開講年次
 <一の位> 語学、その他:1 コンピュータ:2 化学:3 生物:4 食品:5 環境:6 融合・複合:7 物理、数学:8 演習、実験:9

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング				
													百の位	十の位	一の位	合計	
総合科目	哲学	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 自律の力を養う。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 授業で紹介された哲学者の基本的な立場を理解できる。 2. その考え方に対する自分の意見を述べることができる。 3. 毎時間ごとに示されるキーワードをよりどころとして、自分は周囲の環境や人々そして自分自身をどのようにとらえているのかを再確認できる。	◎								1	1	3	113
総合科目	心理学	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 心理学がとらえてきた「心」の仕組みや働きを理解する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 講義の中でとりあげた基礎概念を、実例を用いて説明する。 2. 日常の事象をこれらの基礎概念の実例として紹介する。	◎							1	1	3	113	
総合科目	日本国憲法	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 憲法の根底にある基本原理を理解することを通じて、人権感覚を練磨し、政治参加主体となるために必要な基礎的知識を修得させる。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 統治機構の運営上生じる憲法問題を正確に理解できる。 2. 重要な憲法裁判例の事実関係およびそこにおける憲法上の争点を把握したうえで、国家行為の合憲性について推論し、結論に至るまでの論理を説明できる。	◎							1	1	3	113	

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング				
													百の位	十の位	一の位	合計	
総合科目	人権論	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】人権保障の根底にある価値理念を理解することを通じて、人権感覚、規範意識を修得させる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 人権保障の根底にある価値理念を理解できる。</p> <p>2. 上記価値理念が個別具体的事案においてどのように実現されているか、または実現されるべきかを、対立する諸見解をふまえて説明できる。</p>	◎								1	1	3	113
総合科目	経済学	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を養成する。</p> <p>【到達目標】 【平成30年度開講予定科目のため、詳細なシラバスの設定なし】</p>	◎								1	1	5	115
総合科目	政治基礎論	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】本国憲法の統治構造の根底にある基本原理を理解することを通じて、政治参加主体となるために必要な基礎的知識を修得させる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 日本国憲法の統治構造の根底にある基本原理を理解し、この原理が具体的な統治構造にどのように反映されているかを把握できる。</p> <p>2. 政治運営のなかで生じる人権問題の解決法について、実例をあげつつ説明できる。</p>	◎								1	1	3	113
総合科目	教養特殊講義A	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】</p> <p>【到達目標】 【平成30年度開講予定科目のため、詳細なシラバスの設定なし】</p>									1	1	9	119
総合科目	ことばと文化	2～3年次	1単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】</p> <p>【到達目標】 【平成30年度開講予定科目のため、詳細なシラバスの設定なし】</p>	◎								1	2	5	125
総合科目	日本語の技法	1年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養うことを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。</p> <p>2. レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養うことを目標とする。</p> <p>3. 自分の日本語表現力を各テストにて自覚し、論理的な文章を書くために基礎的な事柄を学習していく。</p>	◎								1	2	1	121

カリキュラムマップ

工学部 化学生命工学科 生物化学コース

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング				
													百の位	十の位	一の位	合計	
総合科目	人間と文化	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】主に時事問題を題材にして、読解力を高め、関連する知識を増やし、考察し、自分の意見が発表できることを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 現代社会における注目の時事問題に関する知識を得る。</p> <p>2. 文章表現、構造を学び、大学生にふさわしい読解力を身に付ける。</p> <p>3. 付加情報について収集し、考察し、大学生にふさわしい自分の感想、意見をもち発表できる。</p>	◎								1	2	3	123
総合科目	東広島学	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】東広島市の郷土の宝、歴史やまちづくりについて学び、さらに、本科目にあるフィールドワークを通じて社会活動の重要性や地域貢献の必要性について学ぶ。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 東広島地域の歴史・現在と将来計画について理解し、現在、本市が抱えている問題、本市が進もうとしている方向、本市の有する資産、産業、福祉、教育、文化等幅広く学習する。</p> <p>2. 各学科で行う専門教育の基礎的な知識・考え方を身に付ける。</p>	◎								1	2	3	123
総合科目	国際経営論	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】企業活動、企業倫理、コンプライアンス、コーポレートガバナンス、内部統制、CSR(企業の社会責任)、リスク管理等について理解し、企業における情報システム構築時における問題意識を醸成することを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>(1) 国際経営に関する基本的視点と考え方について、概要が理解できるようになる。</p> <p>a) 経営の国際化の現状と方向</p> <p>b) 異文化コミュニケーション/IT革命/国際的リスク等の経営へのインパクト</p> <p>c) 各種国際戦略(提携/マーケティング/調達/生産技術等)の必要性</p> <p>d) 国際経営への影響因子(組織/企業文化/人事管理/人材管理、等)のポイント</p> <p>(2) 上記(1)の知識習得に並ぶ目標・成果として、国内外のビジネス・経済の動きに興味を持てる人</p>	◎								1	2	5	125
総合科目	グローバルキャリア論	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】</p> <p>【到達目標】</p> <p>【平成30年度開講予定科目のため、詳細なシラバスの設定なし】</p>	◎								1	2	5	125
総合科目	教養特殊講義B	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】</p> <p>【到達目標】</p> <p>【平成30年度開講予定科目のため、詳細なシラバスの設定なし】</p>									1	2	9	129

カリキュラムマップ

工学部 化学生命工学科 生物化学コース

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング				
													百の位	十の位	一の位	合計	
総合科目	キャリアデザイン	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】望ましい職業観を育成し、適切な進路選択を自律・自立的に行いうる能力の伸長をはかる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 進路についての情報を主体的に探索する。 2. 自らの特性を理解し、それを進路に適切に関係づける。 3. 自らの進路を自律・自立的に計画し決定しようとする姿勢・態度をもつ。	◎								1	3	3	133
総合科目	職業の理解	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】望ましい職業観を育成し、適切な進路選択を自律的に行いうる能力の伸長をはかる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 企業経営の仕組みを学び、多様な業界・職業と職務内容を知る。 2. 新規事業ビジネスプランや「チョイスゲーム」の導入により、グループ演習を通じて提案力、プレゼンテーション力、コミュニケーション能力を高める。 3. 職場や地域で活躍する上で必要となる社会人基礎力「考える力」「チームで働く力」「チームで踏み出す	◎								1	3	5	135
総合科目	生活と倫理	1～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】自律の力を養う。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 授業で紹介された倫理的用語の基本的な意味を理解できる。 2. 身の回りの具体例を挙げながらそれを説明することができる。 3. 毎時間ごとに示されるキーワードをよりどころとして、自分は周囲の環境や人々そして自分自身をどのよ	◎								1	3	3	133
総合科目	社会行動論	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】 【到達目標】 【平成30年度開講予定科目のため、詳細なシラバスの設定なし】	◎								1	3	5	135
総合科目	エンジニアリング・デザイン	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】多様な知識や見識とそれらを使いこなす素養を要し、俯瞰的な視点から社会的ニーズを正確に捉えることができ、技術を実践的・実用的かつ安全に扱える者の育成。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 社会からの厳しいニーズに対応できる論理的考察が可能な基礎的素養を獲得し、設計開発業務等において実践的に社会で強く戦える技術者を目指す。	◎								1	3	5	135
総合科目	インターンシップ研修	2～3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】企業の現場において実習・研修的な就業体験を行うことによって、独創的な技術やノウハウ等に触れながら実務能力を高めることができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 実習・研修的な就業体験により、技術者・職業人としての自覚を持ち、得られた知見を説明できる。	◎								1	3	4	134

カリキュラムマップ

工学部 化学生命工学科 生物化学コース

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング				
													百の位	十の位	一の位	合計	
総合科目	教養ゼミナール	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】 少人数のクラスで異なる学年・学科の学生が交流しながら、主体的な学びを通して、各テーマに関する知識や技能を修得する。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 各テーマに関する知識や技能を修得する。</p> <p>2. 学年・学科を超えて協同して学び活動することができる。</p> <p>3. 主体的に学修することができる。</p>	◎	○							1	3	5	135
総合科目	教養特殊講義C	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】</p> <p>【到達目標】</p> <p>【平成30年度開講予定科目のため、詳細なシラバスの設定なし】</p>								1	3	9	139	
総合科目	芸術論	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】 西洋美術の歴史を通して芸術を学ぶと同時に、実際絵を描き美術館を訪れることで芸術的センスを磨く。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 西洋美術の歴史を概説し、芸術の歴史を理解できる。</p> <p>2. 授業で出題されるスケッチを描くことで、表現を身につけることができる。</p> <p>3. 実際に美術館を訪れることで、芸術的センスを磨くことができる。専</p>	◎								1	4	5	145
総合科目	工業デザイン	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】</p> <p>【到達目標】</p> <p>【平成30年度開講予定科目のため、詳細なシラバスの設定なし】</p>	◎								1	4	5	145
総合科目	生涯スポーツⅠ	1～3年次	1単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】 スポーツの実践を通じて、生涯にわたる健康の保持増進に寄与する体力を養う。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.生涯を通じたスポーツ実践に必要な基礎体力の意義を理解できる。</p> <p>2.ソフトボールのゲームにおいて基礎的技術（ゲーム戦術・戦略および審判方法）を実践することができる。</p>			◎						1	4	3	143
総合科目	生涯スポーツⅡ	1～3年次	1単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】 スポーツの実践を通じて、生涯にわたる健康の保持増進に寄与する体力を養う。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.生涯を通じたスポーツ実践に必要な基礎体力の意義を理解できる。</p> <p>2.フットサルのゲームにおいて基礎的技術（ゲーム戦術・戦略および審判方法）を実践することができる。</p>			◎						1	4	3	143

カリキュラムマップ

工学部 化学生命工学科 生物化学コース

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング					
													百の位	十の位	一の位	合計		
総合科目	スポーツ概論	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】健康・スポーツを科学的に理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. スポーツ文化を歴史・社会的に理解することができる。</p> <p>2. トレーニングや健康に関する諸理論を学ぶことによって、スポーツを科学的に理解することができる。</p>		◎							1	4	3	143	
総合科目	健康と安全	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】心身ともに健康的な生活を営み、豊かな社会の構築のために自らの専門とする知識・技能を活用する態度を身に付ける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 健康の概念を理解し、自らの生活習慣を見直すことをとおして、その保持・増進をはかる。</p> <p>2. 安全・安心な生活を送るための危険予知、安全保持、危険対処の方法を日常行動の中に取り入れる。</p>		◎								1	4	5	145
総合科目	メンタルヘルス	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】メンタルヘルスに関わる諸問題とその背景的要因、ならびにそれらへの対応について理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. メンタルヘルスに関わる諸問題とその背景的要因について概念的な説明する。</p> <p>2. メンタルヘルスについて、基本的な予防と治療の方法について解説をする。</p>		◎								1	4	5	145
総合科目	余暇論	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】余暇の本来の意味を学び、余暇の現状や諸問題を理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 余暇（レジャー）の本来の意味を理解できる。</p> <p>2. 現代社会におけるレジャーの意義を認識するとともに、各自の生活における有効なレジャー活動を創造・実践できる。</p>		◎								1	4	5	145
総合科目	工学倫理	2～3年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】これから社会に出て活躍する諸君が、倫理的諸問題を認識・発見し、それを考察し、実践的に解決に導くための基礎を身に付けることを目的とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 一人の社会人として、技術者倫理に関わる諸問題を適切に解決に導く能力を備えることができる。</p>		◎								1	6	5	165
総合科目	地球の科学	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】地球科学に関する地学についてのものごとの考え方を理解し、それらの基本的問題を解くことができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球科学に関する地学の一通りの知識を獲得できる。 地学用語の正しい理解と説明ができる。 地学の基本問題が正しく解け、説明できる。 		◎								1	6	3	163

カリキュラムマップ

工学部 化学生命工学科 生物化学コース

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング					
													百の位	十の位	一の位	合計		
総合科目	宇宙の科学	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】宇宙科学に関する地学についてのものごとの考え方を理解し、それらの基本的問題を解くことができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙科学に関する地学の一通りの知識を獲得できる。 ・宇宙科学に関する地学用語の正しい理解と説明ができる。 ・宇宙科学に関する地学の基本問題が正しく解け、説明できる。 	◎								1	6	3	163	
総合科目	生命の科学	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】生物学の基礎を学び、身近な生命現象を理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生物学の基礎を学ぶ 2. 身近な生命現象を知り理解すること 3. 生命と環境との相関について思考し、説明できる基礎を身に付けること 		◎							1	6	3	163	
総合科目	情報リテラシー	1年次	1単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】Microsoft Office Word/Excel/Power Pointの基礎的な操作方法に加え、大学生活だけでなく社会生活においても必要とされる情報活用能力を養成する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Microsoft Officeアプリケーション(Word/Excel/Power Point)の基本的な操作方法を身に付ける。(ビジネス文章の作成、関数やグラフを使った表作成、スライドによる資料作成レベル) 2. コンピュータの構成などIT基礎知識の習得と、インターネットのメリットデメリットを理解し、適切な利用方法を身に付ける。 3. eラーニングを活用し、自らアプリケーション操作に関するスキルアップを図る。 									1	6	1	161	
総合科目	図学	1・2年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】「図面の見方、読み方、並びに作成」を重点的に学習し、製造業における「経営幹部、スタッフ」又は工業系の「教職員」にとって必須のスキルである「図面の解読、作成」を習得する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「中小企業診断士」の試験に係わる当該分野をクリアする。 2. 国家検定（厚労省）「製図技能士」に係る動機づけ。 	◎									1	6	2	162
総合科目	物質の科学	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】</p> <p>【到達目標】</p> <p>【平成30年度開講予定科目のため、詳細なシラバスの設定なし】</p>									1	6	5	165	
総合科目	工学特講	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】</p> <p>【到達目標】</p> <p>【平成30年度開講予定科目のため、詳細なシラバスの設定なし】</p>									1	6	5	165	

カリキュラムマップ

工学部 化学生命工学科 生物化学コース

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング					
													百の位	十の位	一の位	合計		
外国語科目	英語 A I	1年次	1単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を養成する。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的な語彙力を身につける。 2. 基礎的な文法力を身につける。 3. 継続的に自学自習する週間を身につける。 	◎								1	5	1	151	
外国語科目	英語 A II	1年次	1単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を養成する。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEICテストの出題形式に慣れ、パートごとに的確に対応できる。 2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察できる。 3. 基礎的な語彙力・文法力を身につけ、TOEICのPart 5 & 6問題に対応できる。 4. 英語読解能力を身につけ、TOEICのPart 7に対応できる。 5. 継続的に自学自習する習慣を身につける。 	◎								1	5	2	152	
外国語科目	英語 B I	1年次	1単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEICテストの問題形式に慣れ、的確に問題に対応できる。 2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察できる。 	◎									1	5	1	151
外国語科目	英語 B II	1年次	1単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEICテストの出題形式に慣れ、パートごとに的確に対応できる。 2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察できる。 3. 比較的ゆっくり読まれている英文を聞いて、全体的なトピックが把握できる。 4. 比較的ゆっくり読まれている英文を聞いて必要な情報を聞き取り、平易な質問に答えることができる。 5. 継続的に自学自習する習慣を身につける。 6. TOEICのスコアを英語運用能力定着の1つの指標とし、300点を到達目標とする。 	◎								1	5	2	152	
外国語科目	英語 C I	2年次	1単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、TOEICのスコアを英語運用能力定着の一つの指標とし、400点に到達することができるようになる。</p>	◎									1	5	3	153
外国語科目	英語 C II	2年次	1単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、TOEICのスコアを英語運用能力定着の一つの指標とし、500点に到達することができるようになる。</p>	◎									1	5	4	154

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング				
													百の位	十の位	一の位	合計	
外国語科目	英語D I	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英語学習に必要な学習態度を身につける 2. 基礎的な語彙力を身につける 3. 基礎的な文法力を身につける	◎								1	5	3	153
外国語科目	英語D II	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英語学習に必要な学習態度を身につける 2. 基礎的な語彙力を身につける 3. 基礎的な文法力を身につける	◎								1	5	4	154
外国語科目	英語応用 I	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】使用テキストの重要な目的でもある、「全体的なエッセイの構造を考えながら掴む」という読解の技能を育成すること。（エッセイにおけるそれぞれのパラグラフが持っている役割を明確に理解し、論理的に読み進んでいき、全体の内容理解を深める。） 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 必要に応じて辞書を引きながら、新聞記事、雑誌記事、勉学に必要な専門書が正確に理解できる程度の力を身につける。 2. TOEIC 500点に到達することができるようになる。	◎								1	5	5	155
外国語科目	英語応用 II	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】使用テキストの重要な目的でもある、「全体的なエッセイの構造を考えながら掴む」という読解の技能を育成すること。（エッセイにおけるそれぞれのパラグラフが持っている役割を明確に理解し、論理的に読み進んでいき、全体の内容理解を深める。） 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 必要に応じて辞書を引きながら、新聞記事、雑誌記事、勉学に必要な専門書が正確に理解できる程度の力を身につける。 2. TOEIC 500点に到達することができるようになる。	◎								1	5	6	156
外国語科目	英会話基礎 I	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 異文化理解を含む、実践的コミュニケーションのための英語会話能力を修得する。 2. 日常生活に最低限必要な会話パターンを修得した上で、会話でスムーズに自己表現できる能力を修得する。	◎								1	5	3	153
外国語科目	英会話基礎 II	2年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 異文化理解を含む、実践的コミュニケーションのための英語会話能力を修得する。 2. 日常生活に最低限必要な会話パターンを修得した上で、会話でスムーズに自己表現できる能力を修得する。	◎								1	5	4	154

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング				
													百の位	十の位	一の位	合計	
外国語科目	英会話応用Ⅰ	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育てる。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英会話基礎で修得した日常生活レベルのコミュニケーション運用能力を発展させ、意思伝達にとどまらず論理的に相手を納得させられる発話レベルを修得できる。 2. ディベートやパブリックスピーチ能力を修得できる。	◎								1	5	5	155
外国語科目	英会話応用Ⅱ	3年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育てる。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英会話基礎で修得した日常生活レベルのコミュニケーション運用能力を発展させ、意思伝達にとどまらず論理的に相手を納得させられる発話レベルを修得できる。 2. ディベートやパブリックスピーチ能力を修得できる。	◎								1	5	6	156
外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】文法の規則性に気付く。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.教材のドイツ語文が正しい発音で読める。 2.英語とドイツ語の文法構造が比較・検討できる。 3.辞書の引き方、表記法が分かる。	◎								1	5	7	157
外国語科目	ドイツ語Ⅱ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】文法の規則性に気付く。 【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.教材のドイツ語文が正しい発音で読める。 2.英語とドイツ語の文法構造が比較・検討できる。 3.挨拶など、日常会話における簡単な表現が言える。	◎								1	5	8	158
外国語科目	フランス語Ⅰ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. フランス語の特徴をつかみ、正しい発音で初歩の会話ができる。 2. 平易な文を読むことができる。 3. 異文化への関心と理解を深め、多彩な価値観を知る。	◎								1	5	7	157
外国語科目	フランス語Ⅱ	1年次	1単位	選択科目	【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. フランス語の特徴をつかみ、正しい発音で初歩の会話ができる。 2. 平易な文を読むことができる。 3. 異文化への関心と理解を深め、多彩な価値観を知る。 4. フランス語技能検定試験5級・4級レベルの実用的フランス語を身につけることができる。	◎								1	5	8	158

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング				
													百の位	十の位	一の位	合計	
外国語科目	中国語Ⅰ	1年次	1単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】中国文化の理解と基礎的なコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. テキストの中国語文が正しい発音で読むことができる。</p> <p>2. 中国語文の文法構造が説明できる。</p> <p>3. 辞書の引き方、ローマ字による表記法が分かる。</p> <p>4. 簡単なコミュニケーションを行う方法を修得する。</p>	◎								1	5	7	157
外国語科目	中国語Ⅱ	1年次	1単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】中国文化の理解と基礎的なコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. テキストの中国語文が正しい発音で読むことができる。</p> <p>2. 中国語文の文法構造が説明できる。</p> <p>3. 辞書の引き方、ローマ字による表記法が分かる。</p>	◎							1	5	8	158	
外国語科目	海外語学研修	1～4年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】3～4週間の集中講義を受講することにより語学運用能力を向上させることができる。異文化体験を通して国際的感覚を身につけることができる。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 異文化を理解した上で国際的感覚を身につける。</p> <p>2. 日常生活および社会生活で通用し得る実践的な語学力を身につけ、コミュニケーションがとれるようになる。</p>	◎							1	5	9	159	
専門科目	フレッシュマンゼミナール	1年次	1単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】自発的に学習する能力、論理的に思考する能力、自己表現でき、他人とコミュニケーションできる能力を身に付けることを目標としている。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 大学生活を有意義に過ごすための動機づけとして、大学4年間で学べる内容・サブプログラムを理解するとともに図書館、情報教育センターなどの学内施設の有効活用法を体得する。</p> <p>2. ディベート、小論文・レポート作成、プレゼンテーションなどを行うことにより、論理的な思考能力、自己表現能力、コミュニケーション能力を身につける。</p>	◎	○						2	1	1	211	
専門科目	電算機基礎演習Ⅰ	1年次	1単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】コンピューターによる情報収集、文書の作成、表計算ソフトによるデータ処理およびプレゼンテーションの基礎を身につけ、コンピューター利用の基礎的な知識や技能修得を目標とする。</p> <p>【到達目標】ワードプロセッサ、表計算、プレゼンテーションソフトを用いたドキュメントの作成、各種データ処理の基本を身につけ、コンピューターを用いて効果的な報告書を作成し、プレゼンテーションすることができる。</p>	◎	○						2	1	2	212	
専門科目	電算機基礎演習Ⅱ	2年次	1単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】コンピューターは情報の収集、加工、表現、発信には絶大な威力を発揮する便利なツールである。本実習では、有機物の化学構造式を描画するChemsketch、データ、数学関数を描画するGnuplotを利用し、専門知識とソフトウェアを利用するスキルとを融合させる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. コンピューターを化学、生物学の分野で積極的に利用できるようになる。</p> <p>2. 基本的な有機物の構造式をコンピューターを用いて描画できる。</p> <p>3. 実験データを目的に応じてグラフ化できる。</p>			◎					2	2	2	222	

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング					
													百の位	十の位	一の位	合計		
専門科目	物理学Ⅰ	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】力学現象を基本法則に従って解釈する態度を身につける。典型的な力学現象の解法を理解しており、具体的に解くことが出来る。教職課程の学生は高等学校で生徒を十分に指導できるだけの物理学の背景を持つ。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.あらゆる科学は実験科学であること、物理学の基本法則が普遍的であることを知っている。</p> <p>2.物理量におけるベクトル量とスカラー量の違いの理解。</p> <p>3.落体運動、放物体運動、円運動、単振動、単振り子等の基本的運動の理解。</p> <p>4.個々の力学問題に当たってニュートンの運動方程式が立てられる。</p>			◎						2	1	8	218	
専門科目	物理学Ⅱ	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】剛体の力学と電磁気学の基本法則を理解し、それらの基本問題を解くことが出来る。教職課程の学生は高等学校で生徒を十分に指導できるだけの物理学の背景を持つ。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.剛体のつり合い、剛体の回転運動が理解できる。</p> <p>2.クーロンの法則、電場の問題が解ける。</p> <p>3.オームの法則、キルヒホッフの法則を説明できる。</p> <p>4.電流のつくる磁場の問題が解ける。</p> <p>5.レンツの法則を説明できる。</p>			◎						2	1	8	218	
専門科目	化学概論Ⅰ	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】有機化学に用いる特有の言葉、規則性とその運用などを有機化合物の結合、構造、官能基、命名法の基本などを通して理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.化学結合について説明できる（学科目標C2に対応）</p> <p>2.構造異性体について説明できる（学科目標C2に対応）</p> <p>3.有機化合物を官能基別に分類することができる（学科目標C2に対応）</p> <p>4.基本的な有機化合物の構造式から化合物名を日本語および英語表記することができる（学科目標B2に対応）</p> <p>5.日本語および英語表記された基本的な有機化合物の化合物名から構造式を書くことができる</p>			◎		○				2	1	3	213	
専門科目	化学概論Ⅱ	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】本講義では、高校までの化学を再確認するとともに、大学で学ぶ化学の理解のための基礎知識の習得を目標とする。さらに、国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力の養成を目標としている。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.高校での化学と大学で学ぶ化学の基礎的な知識を理解し説明できる。</p> <p>2.基本的な元素、化合物を日本語、英語、化学記号で記述することができる。</p>	○		◎							2	1	3	213
専門科目	生物学概論	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】生命現象を理解する上で必要な基礎知識を修得することを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>細胞・生体物質・生体エネルギー・調節が生命の必要不可欠な土台としてどのように役立っているか、また各々がどのようにお互いに関連しているかを簡単に説明できる。</p>			◎						2	1	4	214	
専門科目	微分積分学Ⅰ	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】初等関数の導関数を求める手法を修得する。また導関数の応用として、グラフの増減を調べたり、マクローリン展開を求めることができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。</p> <p>1. 積・商の微分公式を用いて導関数を求める。</p> <p>2. 初等関数の導関数を求める。</p> <p>3. 導関数を用いてグラフの概形が分る。</p>			◎						2	1	8	218	

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング					
													百の位	十の位	一の位	合計		
専門科目	微分積分学Ⅱ	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】初等関数の不定積分・定積分を求める手法を修得する。また定積分の応用として、面積・体積を求めたり曲線の長さを求めることができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初等関数の不定積分を求める。 2. 初等関数の定積分を求める。 3. 面積、体積、曲線の長さを求める。 			◎							2	1	8	218
専門科目	化学生命工学基礎演習	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】高校の化学で学んだ物質の構成、物質の変化（熱化学、酸と塩基の反応、酸化還元反応）の問題の復習と大学で始めて学んだ化学概論ⅠおよびⅡの物質の構成、物質の状態、化学反応、無機化合物、有機化合物などの内容を中心とした演習を通して、化学の基礎を理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 単位、有効数字、物質量計算など基本的な計算問題を解くことができる。 2. 代表的な元素名、物質名を英語で読み書きできる。 3. 複雑な構造を有する有機化合物の命名を日本語および英語で表記することができる。 4. 日本語および英語で表記された有機化合物を構造式で表すことができる。到達目標を達成することにより、化学分野の科学技術の発展に活かせる基礎知識が養成され（学科目標C2）、演習の解答を学生がお互いに発表することにより、プレゼンテーション能力が養成される（学科目標B1）。 	○	◎	○							2	1	9	219
専門科目	化学生命工学基礎実験	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】実験を通して積極的に問題点を見つけ、状況に応じた考え方や行動の提案ができること、自らの役割を理解して行動できること、論点を理解してわかりやすいプレゼンテーションや文章表現ができることを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学実験の安全について理解し適切な行動が取れる。 2. 実験に対する責任ある行動（倫理観）を説明できる。 3. 実験の目的を理解するために調査・検討することができる。 4. 実験の目的および安全性を考慮して、実験を計画することができる。 5. グループ実験では、チームワークに配慮して実験することができる。 6. 実験結果を論理的に解析することができる。 7. 実験結果を筋道を立てて説明できる。 <p>到達目標4), 6), 7)により学科目標B1の記述、プレゼンテーション能力を養成する。3), 5)により学科目標C1の状況に応じた考え方の提案ができ、継続的に向上させる能力を養成する。1), 2)により学科目標A2の技術者としての社会的責任の理解と国際的な専門能力を養成する。</p>									2	1	9	219	
専門科目	無機・物理化学演習	2年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】環境科学および物理化学領域における無機・物質化学の基本概念・普遍的知識などを効果的な学習を通じて確実に身につかせ学力の充実をはかり、さらにそれらの知識を自由に活用し、十分に応用できるよう問題の演習、各人の意見発表、討論を行なう。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 無機化学、物理化学の知識を応用して基礎的な問題を解答できる。（基礎の充実D1） 2. みずから問題の解法を検討することができる。（継続的に学習する経験C1） 3. 解法を分かり易く説明することができる。（プレゼンテーション能力B1） 	○	○	○			○	◎			3	2	9	329

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング					
													百の位	十の位	一の位	合計		
専門科目	物質化学実験	3年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】 バイオ、化学の分野における様々な課題研究に対応できる知識・能力を習得することを学習・教育目標とする。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.実験目的および手順を説明することができる。</p> <p>2.実験に必要な試薬や器具および装置について、その役割を理解し準備できる。</p> <p>3.安全に留意して、実験手順にしたがって実験を実施できる。</p> <p>4.それぞれの実験テーマについて、内容を理解し、関連する測定や計算ができる。</p> <p>5.実験データを実験ノートに整理して記録できる。</p> <p>6.実験データを解析して考察し、実験レポートにまとめることができる。</p> <p>到達目標の達成により、学科目標B1のわかりやすい記述、プレゼンテーションをする能力、D2の与えられた制約の下で作業をすすめ問題を解決する能力、さらにD1の専門分野の基礎・応用能力を養成する。</p>	○		◎			○	○			4	3	9	439
専門科目	環境生命化学実験（化学系）	3年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】 情報調査から探求を進める能力を養成する。実験データの取得、データ解析法などの実験実習する技術を取得し、複合的な問題に対処できる基礎、応用、デザイン能力を養成する。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.実験および手順を説明することができる。</p> <p>2.それぞれの実験テーマについて、内容を理解し、関連する測定や計算ができる。</p> <p>3.与えられた課題に対して、安全に留意して実験計画を立案できる。</p> <p>4.実験に必要な試薬や器具および装置について、その役割を理解し準備できる。</p> <p>5.実験データを実験ノートに整理して記録できる。</p> <p>6.実験データを解析して考察し、実験レポートにまとめることができる。</p> <p>7.発表会における発表内容がわかりやすく、質問に対して的確に回答できる。</p>		○	◎	○	○	○			4	3	9	439	
専門科目	環境生命化学実験（バイオ系）	3年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】 情報調査から探求を進める能力を養成する。実験データの取得、データ解析法などの実験実習する技術を取得し、複合的な問題に対処できる基礎、応用、デザイン能力を養成する。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.実験および手順を説明することができる。</p> <p>2.それぞれの実験テーマについて、内容を理解し、関連する測定や計算ができる。</p> <p>3.与えられた課題に対して、安全に留意して実験計画を立案できる。</p> <p>4.実験に必要な試薬や器具および装置について、その役割を理解し準備できる。</p> <p>5.実験データを実験ノートに整理して記録できる。</p> <p>6.実験データを解析して考察し、実験レポートにまとめることができる。</p> <p>7.発表会における発表内容がわかりやすく、質問に対して的確に回答できる。</p>		○	◎	○	○	○			4	3	9	439	
専門科目	卒業研究ゼミナール	3年次	1単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】 業研究及び就職活動に要求される、専門科目の基礎学力および問題解決能力、論理的な思考能力、自己表現能力などを自らチェックして、レベルアップを図ると同時に、社会人基礎力の確認・養成を図る。</p> <p>【到達目標】 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.当学科における専門科目に関する基礎学力の確認を行い、その能力のレベルアップができる。</p> <p>2.様々な側面（卒業研究及び就職活動）での問題解決能力、論理的な思考能力、自己表現能力などの社会人基礎力を鍛える。</p>	◎	○	○	○	○	○	○	○		5	3	1	531

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング						
													百の位	十の位	一の位	合計			
専門科目	卒業研究	4年次	4単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】理論や実験の進め方、考察の仕方、文献の検索、論文のまとめ方・書き方、プレゼンテーションなどの指導が行われ、高度な技術者・研究者の育成を図ることを目標としている。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 一年間の研究を通じて、一つの目標に向かって研究する際の一連の作業体験を経て、その作業を行うための能力を養成する。</p> <p>2. 4月～6月で調査、計画、自主的な学習などおよそ100時間により学科目標のD1,C1の能力を養成する。7月～12月の実験実施、検討、再実験の計画、自発的な学習など350時間により、学科目標D1,D2,C1の能力を養成する。1月、2月のまとめとプレゼンテーション150時間によって、学科目標B1の能力を養成する。</p>	○	○	○	◎	○	○	○		5	4	9	549		
専門科目	コンピュータ応用Ⅰ	2年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】生物化学工学分野におけるデータの取り纏め、加工、と数学的理論に基づいた客観的な表現法を理解して活用できることを目的とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.誤差や有効数字を考えたデータの取扱を習得する。</p> <p>2.応用的な数学の講義で得た知識を実際のデータを利用して実習によって理解を深める。</p> <p>3.データを解析して得られる結論をプレゼンによって報告する技術を習得する。</p> <p>4.インターネットを使った化学情報の検索法を知る。</p>						◎	○		3	2	2	322		
専門科目	コンピュータ応用Ⅱ	3年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】コンピュータ応用Ⅰでは、データの基本的な取り扱い方法を学んだ。この授業では、数学的な統計の基礎にも簡単に触れながら、データに対して統計学的分析をする手法を学ぶ。さらに、効率的に実験条件を設定する手段である実験計画法についてその概略を学ぶ。講義とコンピュータを用いて実際にデータの分析、実験計画、分散分析法を演習する。データの統計的な取り扱い方について理解し、活用できるようになることを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.統計学的分析にかかわる基本的な専門用語を理解し説明することができる。</p> <p>2.データから取り出したい情報が分かれば適切な統計学的検定法を選択し分析することができる。</p> <p>3.実験計画法の基本的な考え方を説明でき、最適化実験を計画することができる。</p>							○	◎	○		3	3	2	332
専門科目	化学・生命情報学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】生物化学工学分野において必要な書誌、WEB、各種電子メディア等のクロスメディアを通じての有効な情報検索とその活用ができる能力を養う。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 化学情報の意味、特殊性、および利用価値について認識でき、基礎的な活用ができる。</p> <p>2. 目的に応じて適切な化学情報に関するキーワード設定ができる。</p> <p>3. インターネット、冊子体情報を使用して文献情報（論文、特許、学会要旨）を入手できる。</p> <p>4. 化合物の安全性データや物性・スペクトル等データを入手できる。</p>		○	◎		○				4	3	2	432		
専門科目	基礎物理化学	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】電子の世界を描く量子力学、および巨視的な物質系において成立している反応速度、化学平衡について学ぶ。この講義では、内容を理解し物理化学の基本的概念について説明できることはもちろんであるが、テキストに記載されている基本的な問題を解けるようになることを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.原子の電子構造に関連した量子力学の基本的な概念、指定された原子の電子配置を基本法則に従って説明することができる。</p> <p>2.化学反応速度、反応の次数、速度定数、活性化エネルギーについて説明することができる。</p> <p>3.化学平衡状態について、平衡定数を用いて説明し、各成分を計算することができる。</p> <p>4.以上の領域の専門用語を日本語だけでなく英語でも6割以上を書くことができる。</p>										2	1	3	213	

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング					
													百の位	十の位	一の位	合計		
専門科目	基礎無機化学	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】化学系専門科目の理解に必要な普遍的専門知識とともに問題解決能力の修得を目指す。同時にインターナショナル版テキストによる専門英語学習を通じて英語能力を総合的に強化する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を修得することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.テキストの章末問題（各章約100題、英語）を理解でき、解決の道筋を組み立てることが出来る。</p> <p>2.学部英語一斉学力試験（TOEIC-Bridge）での学科平均学部トップレベルの英語力</p>			◎						2	1	3	213	
専門科目	基礎有機化学	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】基本的な有機化合物の構造と物性および各種有機反応について理解し、食品・医療・農薬・家庭用品・工業材料などを製品にするために必要な有機化合物の利用法および合成法について考える能力の養成を学習・教育目的とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.有機化合物の構造から化学分野、生物学分野に見られる有機反応が理解できる。</p> <p>2.有機合成反応から、用途目的に合った化合物の合成法の基礎が理解できる。</p>		○	◎			○			2	1	3	213	
専門科目	基礎生化学	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】生物は様々な生体物質（化学物質）から構成され、生命活動はそれら分子の反応により維持されている。膨大な種類の生体物質をカタログ的に知識として学習するのではなく、生体内の物質の反応や生理現象を化学システムとして理解し、考える習慣を身につけることを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 生命活動が化学的、物理化学的な現象であることを理解する。</p> <p>2. 関連する事項を、Webなどを活用し調べることができる。</p> <p>3. 生物化学に関する事項を専門外の人に言葉あるいは文章で簡単に説明できること。</p> <p>4. 生命科学分野の問題を分子レベルで捉え、考える習慣を身につける。</p>		○	○	◎	○	○			2	1	4	214	
専門科目	基礎分析化学	2年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】化学平衡の概念を理解する。電池・電位を理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.酸・塩基の化学平衡、溶解平衡、電池・電位を理解し説明できる。</p> <p>2.英語で記述された上記の基本的な内容を理解できる。</p>		○	○			◎	○			3	2	3	323
専門科目	基礎高分子化学	2年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】高分子物質が日用材料・工業材料・医用材料など多方面に用いられていることから、高分子の構造と特性の相関を理解するとともに、用途目的に合った高分子物質の新規開発方法について考える能力の養成を学習・教育目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.高分子物質の種類と特徴が理解できる。</p> <p>2.高分子物質の構造から、目的に合った高分子物質の合成法の基礎が理解できる。</p> <p>3.汎用材料・機能材料・構造材料などの高分子材料の機能と性能の基礎が理解できる。</p>			○	○		◎				3	2	3	323
専門科目	基礎分子生物学	1年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】親と同じ子孫をつくる“遺伝”という現象は、生物のもつ複雑な生命現象のなかでも最も重要な性質のひとつであるが、この遺伝現象を中心に生物を分子のレベルで理解しようとする学問が分子生物学である。本講義では、生物の特徴や遺伝子とは何かを理解し、遺伝情報の発現と生体物質合成との関連について説明できるようになることを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.DNAおよびRNAの構造と機能の特徴を理解し、遺伝情報の発現と生体物質合成との関連について説明できる。</p> <p>2.日本バイオ技術教育学会が主催する中級バイオ技術者認定試験の過去問題のうち、講義内容に対応した問題の6割以上を正しく解答できる。</p>			○	◎	○					3	2	4	324

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング				
													百の位	十の位	一の位	合計	
専門科目	科学英語Ⅰ	2年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】グローバル社会におけるエンジニア育成の一環として、実社会で通用する実践的な科学技術英語運用能力習得を学習・教育目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.実社会でグローバルに通用する実践的な科学技術英語運用能力の習得。</p> <p>2.文部科学省後援「工業英語能力検定3級」合格レベル。</p>	◎								3	2	1	321
専門科目	科学英語Ⅱ	2年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】グローバル社会におけるエンジニア育成の一環として、実社会で通用する実践的な科学技術英語運用能力習得を学習・教育目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.実社会でグローバルに通用する実践的な科学技術英語の習得。</p> <p>2.文部科学省後援「工業英語能力検定」3級合格レベル。</p>	◎								3	2	1	321
専門科目	知的財産法	3年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】</p> <p>【到達目標】 新設・未来開講科目のため、詳細なシラバスの設定なし</p>									4	3	1	431
専門科目	物理化学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】この講義では、反応速度、化学平衡、熱力学第2、3法則、ギブス自由エネルギーについて内容を理解し、物理化学の基本的概念、用語について説明できることはもちろんであるが、テキストに記載されている基本的な問題を解けるようになることを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.化学反応速度、反応の次数、速度定数、活性化エネルギーについて説明することができる。</p> <p>2.化学平衡状態について、平衡定数を用いて説明し、各成分を計算することができる。</p> <p>3.エントロピー、熱力学第2法則、ギブスの自由エネルギーについて説明することができる。</p> <p>4.以上の内容に関連した基本的な演習問題、専門用語の和英翻訳の6割以上を解答できる。</p>			○		○	◎			3	2	3	323
専門科目	無機化学	2年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】化学系専門科目の理解に必要な普遍的専門知識とともに問題解決能力の修得を目指す。同時に国際版テキストによる専門英語学習を通じて英語能力を総合的に強化する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.テキストの章末問題（各章100第～、英語）を理解でき、解決の道筋を組み立てることが出来る。</p> <p>2.工学部英語一斉学力試験（TOEIC-Bridge）での学科平均学部トップの英語力</p>			◎						3	2	3	323
専門科目	有機化学	2年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】基本的な有機化合物の構造と物性および各種有機反応について理解し、食品・医療・農薬・家庭用品・工業材料などを製品にするために必要な有機化合物の利用法および合成法について考える能力の養成を学習・教育目的とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することにより、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 有機化合物の構造から化学分野、生物学分野に見られる有機反応が理解できる。</p> <p>2. 脂肪族化合物のみならず芳香族化合物の主要な含酸素官能基であるアルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸とその誘導体における各種反応から、目的に合った化合物の合成法の基礎が理解できる。</p> <p>3. 官能基の反応について説明ができる。</p>						◎			3	2	3	323

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング							
													百の位	十の位	一の位	合計				
専門科目	高分子化学	2年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】豊かな生活を支える高分子材料の成り立ちを理解し、材料開発やライフサイクルを考えた素材として環境問題等に対応できる基礎的な知識を修得する。生体高分子と合成高分子の化学的特徴・性質の比較対照等から、性質・機能を生み出す化学構造を特定し、素材実用時の問題等を提起できる応用力を養う。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することにより、以下のことができるようになる。</p> <p>1.高分子材料の合成や分解に関して化学反応の基本的な特徴を説明できる。</p> <p>2.高分子材料の化学構造から、重合反応や起こり得る分解反応の一部が推定できる。</p> <p>3.高分子材料の用途を知り、新しい用途や利用法を探究できる。</p>										3	2	3	323		
	合成化学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】置換反応、脱離反応、酸化反応、還元反応、転位反応などの有機反応を、反応機構を通して理解する。これら反応を用いて、立体化学を含めた骨格構築と官能基導入を概説する。また核磁気共鳴スペクトルなどの機器分析結果を利用した有機構造解析を習得する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.各種反応の機構から立体化学が説明できる。</p> <p>2.各種スペクトルデータから基本的な有機化合物の構造式を書くことができる。</p> <p>3.基本的な有機反応を用いて、標的化合物を合成する経路を考えることができる。</p> <p>「生物工学と化学の分野が関連する複合的な問題に対処できる、基礎、応用、およびデザイン能力」（学目標D1）を身につけるための基礎となる専門知識を有機反応と立体化学および構造解析を通して体得する。さらにこれまでに得た基礎専門知識をもとに天然物や医薬・農薬品などの生理活性物質の合成経路をデザインする能力を養う。</p>											4	3	3	433	
	農薬化学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】害虫防除、植物の病害防除、雑草防除を中心に農薬を科学的立場から概観し、作物保護について学ぶと共に毒とクスリとはどのようなものであるか（選択毒性）について理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.毒物とクスリの考え方について説明できる。</p> <p>2.害虫も人も有する神経伝達系を学び、何故、害虫だけが防除されるのか、その理由を説明できる。</p> <p>3.昆虫ホルモンやフェロモンによる害虫防除を説明できる。</p> <p>4.天然物が安全との一般常識を打破し、安全とはどのようなものか、自ら考えることができる。</p> <p>5.病害防除の機構を説明できる。</p> <p>6.雑草防除の機構を説明できる。</p> <p>7.生長調節剤の機構を説明できる。</p> <p>以上7つの事柄を有機化学的、生物化学的に理解し、「選択毒性」の考え方を自らのものにする。</p>											4	3	3	433	
	機器分析化学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】これまでに実験実習で取り扱ったり、これから取り扱う可能性のある分析機器について、測定原理から測定方法、および得られた結果の解釈等ができるようになることを目標とする。さらに、未経験の分析機器についても原理を理解し、結果の解析ができるようになることを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.実験実習で用いられる測定機器について、その原理と測定方法をわかりやすく説明できる。</p> <p>2.機器分析が必要とされるときには、適切な機器分析方法を選択し、機器分析により問題解決をすることができる。</p>												4	3	3	433

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング										
													百の位	十の位	一の位	合計							
専門科目	生化学	2年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】生物は様々な生体物質（化学物質）から構成され、生命活動はそれら分子の反応により維持されている。膨大な種類の生体物質をカタログ的に知識として学習するのではなく、生体内の物質の反応や生理現象を化学システムとして理解し、考える習慣を身につけることを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 生命活動が化学的、物理化学的な現象であることを理解する。</p> <p>2. 関連する事項を、Webなどを活用し調べることができる。</p> <p>3. 生物化学に関する事項を専門外の人に言葉あるいは文章で簡単に説明できること。</p> <p>4. 生命科学分野の問題を分子レベルで捉え、考える習慣を身につける。</p>												3	1	4	314			
専門科目	微生物学	1年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】微生物の分類、形態、生理、遺伝、生態についての概要を習得し、微生物を取扱うために必要な幾つかの技術が説明できることを本講義の学習到達目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 微生物学で学ぶ項目と内容を説明できる。</p> <p>2. 微生物学分野における分類・進化の基礎の理解。</p> <p>3. 微生物の生理・増殖と代謝についての理解。</p>														2	1	4	214	
専門科目	分子細胞生物学	2年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】人体の構造を理解し、生体の恒常性の維持、生体防御機構、細胞増殖、分化を分子レベルで理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. ヒトの体を構成する組織、器官の構造を理解する。</p> <p>2. 生体分子とその制御機構を理解する。</p> <p>3. 生命活動を分子レベルで理解する。</p>															3	2	4	324
専門科目	遺伝子工学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】分子生物学の進展により遺伝子DNAの構造や機能の詳細が明らかにされてきた。その結果、生物の遺伝現象には共通性が極めて高いことに起因して組換えDNA技術が生まれ、現在では人工的に新たなタンパク質や生物を作り出すことが可能になってきている。本講義では、DNAやRNAの調製法、各種酵素を用いたDNAの加工法、DNAの配列決定法など、組換えDNAに関わる基礎的な技術の原理や目的を正しく理解することを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 遺伝子の解析法と遺伝子組換え実験に関する原理や基本的な用語・技術を説明できる。</p> <p>2. 日本バイオ技術教育学会が主催する中級バイオ技術者認定試験の過去問題のうち、講義内容に対応した問題の6割以上を正しく解答できる。</p>															3	2	4	324
専門科目	生命工学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】生命現象を司る生体物質の知見を習得し、物質を通して生命現象を理解することを目的とする。さらに、生命科学領域の知見を理解し応用できる能力を身につけること、および、最新技術などを専門外の人に簡単に説明できることを目的とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下の項目を達成することを目標とする。</p> <p>1. ライフサイエンス領域の最新知見や未知の領域に興味をもち自ら学習する習慣を身につける。</p> <p>2. タンパク質を中心とした生体物質の生化学的基礎的知識を修得する。</p> <p>3. 生命活動とタンパク質のネットワーク機構について理解する。</p> <p>4. 疾患を生体物質の動態を通して考える習慣を身につける。</p> <p>5. ライフサイエンス領域で用いられる研究技術に関する知識を修得する。</p> <p>6. 食品分野や医療・創薬分野等で生命化学の事実に基づき考える姿勢を養う。</p>															4	3	4	434

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング				
													百の位	十の位	一の位	合計	
専門科目	環境制御工学	2年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】日本では戦後の高度経済成長期に水環境が急激に悪化した。本講義では、どの様な方法を用いてそれを克服したか、そして現在維持されているかを多面的に理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.水環境のこれまでの状況を理解する。 2.水環境の保全のための技術的・社会的対応を理解する。	○	○			◎	○			3	2	6	326
専門科目	環境化学	2年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】地球環境の現状、特に環境汚染、環境破壊の実態を化学的立場から学習し、また汚染の修復、対策の方法について理解を深める。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 地球環境の変遷や人類による環境変化の現状と問題点を化学的観点から理解できる。		◎				○			3	2	6	326
専門科目	資源循環化学	3年次	2単位	必修科目	【学習・教育目標】「資源循環型社会」への転換の必要性を理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.我々が利便性やコストを追求した結果、資源の浪費や大量の廃棄物の処理・処分・管理が社会問題になっていることを理解する。 2.社会の持続的な発展のためには資源リサイクルが必要なこと、新しい社会システムの構築が必要なことを自覚する。	○	◎			○	○			4	3	6	436
専門科目	食品化学	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】食品は化学物質で成り立っているため、食品の理解には物質構造や化学反応に関する知識が求められる。また、ヒトにとっての栄養源であるため、体内での生物学的働きも重要な知識である。さらに、食品にはおいしさや嗜好性に関わる性質も含まれるため、その物理的な特性の理解を要する。したがって本講義では、これらの複合的な問題に対処できる基礎力および応用力の習得を目標とする。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.食品の成分や諸性質について自ら調査し、社会の中で実際に食品がどのように利用されているかを理解して示すことができる。				○				◎	3	2	5	325
専門科目	分子栄養学	2年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】体内で働く栄養素の構造や機能を理解し、栄養素が体内でどのように働き、生命維持に働いているか理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.栄養成分の摂取、消化吸収、体内での代謝や機能を理解する。 2.ヒトの生命維持や生命機能が栄養素の摂取量や摂取によって、どのような影響を受けるかを理解する。 3.栄養に関連した用語を正しく理解し、説明できる。								◎	3	2	5	325
専門科目	応用微生物学	3年次	2単位	選択科目	【学習・教育目標】発酵・醸造に係わる微生物の役割や特徴を理解し、物質生産との関連について説明できる。微生物や酵素を利用して物質生産するための技術に関する用語を正しく理解できる。日本バイオ技術教育学会が主催する中級バイオ技術認定試験の過去問題のうち、講義内容に対応した問題（バイオ英語含む）の6割以上を正しく解答できる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 発酵・醸造に係わる微生物の役割や特徴を理解し、物質生産との関連について説明できる。 2. 微生物や酵素を利用して物質生産するための技術に関する用語を正しく理解できる。 3. 中級・上級バイオ技術認定試験問題のうち、講義内容に対応した問題の6割以上を正しく解答できる。				○				◎	4	3	5	435

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	1	2	3	4	5	6	7	ナンバリング					
													百の位	十の位	一の位	合計		
専門科目	植物栄養学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】植物における無機成分の働きや吸収・移行の仕組みに加えて、光合成、窒素代謝、植物ホルモンの働きなどを理解する。同時に植物の組織培養法や遺伝子組換え作物の作出法などを学ぶことで、食料生産や環境保全に対する植物の役割を説明できるようになることを目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 植物栄養学、植物生理学、植物バイオテクノロジーに関する基本的な用語・技術を説明できる。</p> <p>2. 日本バイオ技術教育学会が主催する中級および上級バイオ技術者認定試験の過去問題のうち、講義内容に対応した問題の6割以上を正しく解答できる。</p>				○	◎	○	○			4	3	5	435
専門科目	食品衛生学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】本講義では、食品衛生全般にかかわる法律、食による被害、その対処法について理解、学習する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.食品衛生に関する知識を習得する。</p> <p>2.食の安全性を理解する。</p> <p>3.安全な食品の開発研究に貢献する。</p>							○	◎	4	3	5	435	
専門科目	食品工学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】食品の品質やおいしさに影響をもたらす種々の因子について理解するとともに、その基盤となる法則や科学的根拠についても学習することにより理解を深め、将来、食品製造や品質管理に関わる際に必要とされる基礎力および応用力の習得を目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.食品製造・加工プロセスにおける基礎的な概念や理論を理解して示すことができる。</p> <p>2.授業で取り上げた代表的な食品の製造方法や特性について理解して示すことができる。</p>					○			◎	4	3	5	435	
専門科目	公衆衛生学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】人の住む環境を理解し、生活環境の改善や、疾病の予防および健康の保持増進に必要な知識や技術を理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.人の住む様々な環境について理解する。</p> <p>2.公衆衛生活動に関する知識を習得する。</p>	◎				○					4	3	7	437
専門科目	生物有機化学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学習・教育目標】限りある天然資源を有効に利用し、医療や農業などの新薬開発につながる新規の生理活性天然物の創出に通じる方向性を理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することにより、以下のことができるようになる。</p> <p>1.有効資源としての有機化合物（天然物）の分離・精製の方法を理解し、単離された化合物の構造決定の基本的な原理を理解し説明することができる。</p> <p>2.天然物の構造を理解するための立体構造および天然物の生合成を説明できる。</p> <p>3.化学合成、生合成および生物活性を知り、その成果を人間の食からの健康に役立てることができる。</p>						○	○	◎		4	3	7	437
専門科目	グリーンケミストリー	3年次	2単位	必修科目	<p>【学習・教育目標】技術者として社会に果たす役割や環境に及ぼす影響を理解して行動できることや、生物工学と化学が関連する複合的な問題に対処できる基礎力および応用力の習得を目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.グリーンケミストリーの概要、定義、特徴について、自分の言葉で表現できる。</p> <p>2.生物、化学の両分野において、またそれら融合分野にグリーンケミストリーを前提にした技術が存在することを認識し、それらを平易な文章でまとめ、説明できる。</p>	◎	○	○	○	○					4	3	7	437